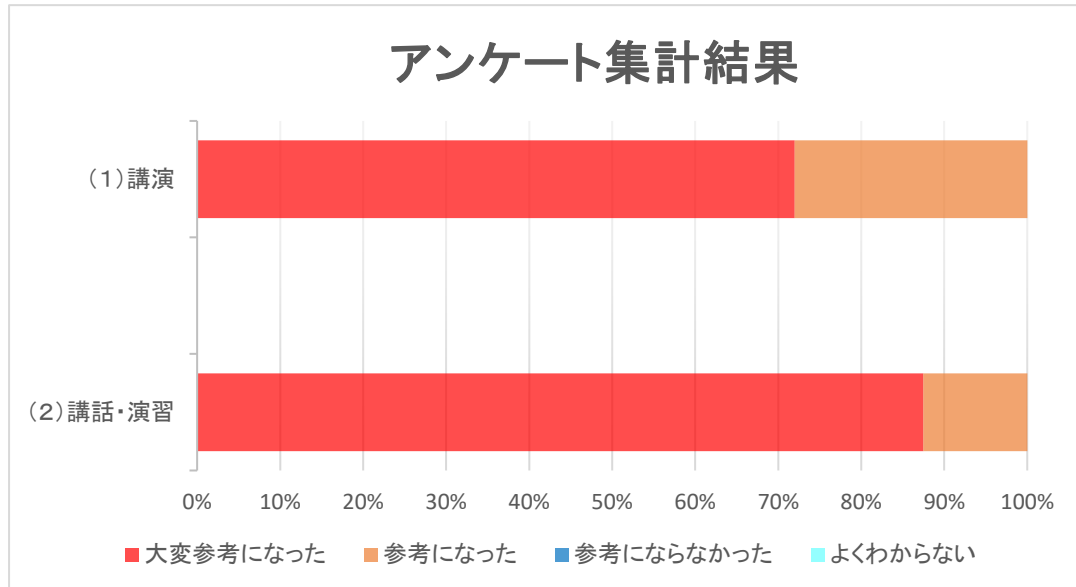


令和4年度「山・海・島」体験活動指導者養成研修会

【アンケート集計結果】



【自由記述より】（抜粋）

・体験活動を通して「学ぶこと」、「学べること」、「学ばせたいこと」は教師が自分の中で決めて持っておけばよいのではなく、子どもたちと共に考え、みんなで共有し、取り組んでいく。そして、それについてしっかり振り返り、次の活動や他の教科、日常生活、そして自分の将来に活かしていくというループのような繰り返す学びをつくっていかなければならないことを学ぶことができた。

・改めて最上位目標は何か、そこに向かって教育活動を仕組んでいかねばならないと思った。「毎年しているからする」から脱却し、体験活動を通して、どんな子どもの姿を目指すのかを明確にしていかなければならない。本市が進めている「学び合い」で大切にしている部分と多く重なるところがあり、大変参考になった。

・体験活動において、振り返りから学びにつなげること、それを日常生活に生かす活動について、「人間関係づくりプログラム」を体験することで、その重要な要素について学ぶことができた。

・講師の平石さんの話し方そのものが、参加者から言葉を引き出すものになっていると思った。教材研究をしたり、授業をする時はもちろん、生徒指導や面談の時にも生かしていきたい話し方だった。

・これまでこうだったから今年も、とついなってしまうがちであるが、どういう子どもたちで、どういう視点で、どういう力を付けていきたいのかをしっかりと考えてやっていきたいと思った。今日学んだこと、自身で感じたことを本校の少くインに伝えていきたいと思った。